

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他飲食〔居酒屋〕 （店長）	・県外の客が増えており、鹿児島県は活気付いているため、今後も良くなる。
		観光型ホテル（経営者）	・売上は前年比で2～3割程度伸びる。前年は愛・地球博のため、来客が少なかったが、今年は予約状況も良く、高水準で推移する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・イベントが多くなり、商店街の中にもぎわいを増していく。食料品の動きは変わらないが、衣料品の動きが良く、単価も高いため良くなる。
		百貨店（売場主任）	・購買力の高い客がコート等を先行して購入しており、高額品の動きが良い。
		百貨店（営業担当）	・店舗を増床オープンさせた結果、来客数が増加しており、前年比152%となった。この傾向は続くと思われ、中心商店街の景気は上向きになる。
		スーパー（店長）	・買物客の動向が二極化している。消耗品に関しては、価格重視に徹しているが、健康器具関連商品などについては、多少高単価でも購入する。
		スーパー（店長）	・競合店の出店の影響が一巡したため、来客数等が回復傾向にあり、今後は良くなる。
		スーパー（店長）	・アウトウェア等の秋物衣料を中心に、今まで低迷していた紳士服、子供服が好調に推移している。加えて、婦人服の単価も上がっており、消費に勢いを感じる。
		衣料品専門店（総務担当）	・ヤング婦人服の売上単価が前年を上回っており、高級品の購買意欲も高く、売上増が見込める。
		家電量販店（経営者）	・薄型テレビなど地上デジタル放送関連商品の単価は下がっているものの、売行きが良くなっている。
		家電量販店（店員）	・12月1日に地上デジタル放送がスタートするので、デジタル製品向け販売が増加する。今は買い控えがある。
		家電量販店（総務担当）	・携帯電話の番号ポータビリティが開始されるため、今後の集客が期待できる。
		家電量販店（企画担当）	・客の収入が安定しており、欲しい商品をすぐに購入する客が増えている。
		乗用車販売店（経理担当）	・来月から新型車ができるため、良くなる。
		住関連専門店（店長）	・原油価格の高騰がある程度落ち着き、商品の値上げも落ち着いているため、購買意欲も上がり、今後は非常に良くなる。
		都市型ホテル（総支配人）	・学会やイベントの宿泊が例年よりも増加している。
	旅行代理店（従業員）	・10月以降の予約状況は国内旅行が前年比で110%、海外旅行が前年比150%で推移している。国内は北海道、海外はヨーロッパ等高単価の旅行の人気が高い。	
	通信会社（業務担当）	・10月24日に開始される携帯電話の番号ポータビリティにより、各携帯会社が販促に力を入れているのに加え、マスコミの注目度も上がっており、来客数及び販売数が上昇する。	
	テーマパーク（職員）	・11月に大きなゴルフトーナメントが開催されるため良くなる。また、温泉やスパ等の売込みも強化しており、集客が期待できる。	
	ゴルフ場（従業員）	・予約状況の段階で、すでに前年を上回っており、11月の予約も良い状況で推移している。景気が少しずつ良くなっている。	
変わらない	商店街（代表者）	・小売業は、依然デフレ傾向にあり、数年前の半額の値になった。商品は少しは売れるようになっているが、売上個数は数年前と大して変わらず、売上が伸びない。衣料品店の客単価も以前は4～5万円だったが、今は1～3万くらいである。	
	商店街（代表者）	・中心街に空き店舗が増え、核となる大型店もなくなり、集客力が落ちている。スーパーマーケットもなくなり、客は商店街にくる必要がない状態で、商店街として機能していない。年末に商圈内に大型商業施設のオープンも控えており、大変厳しい状況である。	
	一般小売店〔青果〕 （店長）	・年金問題等があり、高齢の客が多い当店では、客の買い控えの傾向が顕著である。	

百貨店（営業担当）	・使えるお金の減少、先行きへの不安で客の財布のひもが堅くなっている。催事場のシャワー効果が減少し、目的買い、なければ買わないという傾向が一段と強くなる。														
百貨店（売場担当）	・消費税や年金問題等、不安要素がたくさんあり、百貨店で扱っているぜいたく品が売れない。														
百貨店（業務担当）	・紳士服のウォームピズ等にぎやかさはあるものの、やはり婦人服に動きが戻らなければ、全体を維持することが難しく、先行きは決して良くはない。														
百貨店（営業企画担当）	・一部新商品の投入が実施され多少の動きはみられるが、全体的には低調に推移している。今後、店舗環境の大規模な改善が必要な時期にきている。														
スーパー（経営者）	・原油価格の高騰により、コスト高になっている。そのため、中国等からの仕入れが難しくなっており、価格が高騰する。														
スーパー（店長）	・原油価格の高騰は落ち着いてきたものの、販売量の増大という面では厳しい面がある。買上点数も変わらず、厳しい状況が続く。														
スーパー（店長）	・競合店の出店もあり、状況はますます厳しくなる。														
スーパー（総務担当）	・衣料品は好調に推移しているが、今まで好調に推移していた食品が伸び悩んでいる。住居用品については相変わらず昨年並みに推移している。														
スーパー（経理担当）	・売上が上向きになっており、このままの傾向で推移する。														
コンビニ（エリア担当・店長）	・景気は回復してきているようだが、周りの事業所等が撤退していることもあり、あまり良くならない。														
衣料品専門店（店員）	・10月は実売期と地元球団応援セールが重なり、例年大盛り上がり月であるが、試合結果でセールの日数が減り、今年は例年より厳しくなる。														
乗用車販売店（従業員）	・新型が出る情報もなく、客も買い控えをしており、なかなか厳しい。														
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・原油価格高騰の影響で客足は鈍っているが、灯油を出荷するシーズンになると、今より良くなる。灯油購入と同時に自給油所にて、燃料油利用も増えるので昨年並みは販売できる。														
その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	・台風の影響で建材等がよく出ているが、当然一時的なものである。ホームセンターや金物屋、建材屋はそれなりに物が動いているが継続的ではない。														
高級レストラン（経営者）	・予約が順調に入っており、良い傾向はこのまま続く。														
スナック（経営者）	・人の流れも悪く、新規の客の獲得が厳しい。														
都市型ホテル（副支配人）	・問い合わせ件数は増えているが、値引き交渉もあり単価が下がっている。また見積の段階でも合見積などをする客も増え、競争が激しい。														
旅行代理店（業務担当）	・海外旅行先行受注状況が自社・他社ともに前年を割っている。														
通信会社（企画担当）	・競合他社も無理な値引き合戦を収束しつつあり、やや平衡状態が生まれている。														
設計事務所（代表取締役）	・既存の施設のリニューアルや改善・修復などのニーズはあるが、経営を支えるほどのまとまった受注は期待できない。土木などの公共事業は、補助金の削減等により受注額の増加は期待できない。														
やや悪くなる	<table border="1"> <tr> <td>商店街（代表者）</td> <td>・高齢者への医療費等の負担が増えており、高齢の客が多い商店街は厳しい。</td> </tr> <tr> <td>商店街（代表者）</td> <td>・家庭の中で必要経費となるガソリン代や税金、厚生年金等の値上げがあり、財布のひもは堅くなっていく。消費者の購買意欲がどんどん下がっている。</td> </tr> <tr> <td>コンビニ（エリア担当）</td> <td>・酒、タバコ等免許品の売上が下がっており、今回の酒類販売の完全自由化によってさらに売上が下がることは間違いなく、厳しい状況が続く。</td> </tr> <tr> <td>コンビニ（販売促進担当）</td> <td>・鹿児島市内で薬局や家電、家具、食品の大型量販店が相次いでオープンする。客の分散化があり、今後は厳しくなる。</td> </tr> <tr> <td>乗用車販売店（従業員）</td> <td>・トラックの受注台数が減っている。</td> </tr> <tr> <td>住関連専門店（経営者）</td> <td>・低価格商品の購入にも客が慎重で1回の来店では決まらなくなっている。現在開催しているイベントが終わると客足も鈍くなり、先行きは厳しくなる。</td> </tr> <tr> <td>高級レストラン（専務）</td> <td>・今後、鹿児島市内は新しい大きな商業地がたくさんでき、人口に対してのお店が増え、競争が激化する。</td> </tr> </table>	商店街（代表者）	・高齢者への医療費等の負担が増えており、高齢の客が多い商店街は厳しい。	商店街（代表者）	・家庭の中で必要経費となるガソリン代や税金、厚生年金等の値上げがあり、財布のひもは堅くなっていく。消費者の購買意欲がどんどん下がっている。	コンビニ（エリア担当）	・酒、タバコ等免許品の売上が下がっており、今回の酒類販売の完全自由化によってさらに売上が下がることは間違いなく、厳しい状況が続く。	コンビニ（販売促進担当）	・鹿児島市内で薬局や家電、家具、食品の大型量販店が相次いでオープンする。客の分散化があり、今後は厳しくなる。	乗用車販売店（従業員）	・トラックの受注台数が減っている。	住関連専門店（経営者）	・低価格商品の購入にも客が慎重で1回の来店では決まらなくなっている。現在開催しているイベントが終わると客足も鈍くなり、先行きは厳しくなる。	高級レストラン（専務）	・今後、鹿児島市内は新しい大きな商業地がたくさんでき、人口に対してのお店が増え、競争が激化する。
商店街（代表者）	・高齢者への医療費等の負担が増えており、高齢の客が多い商店街は厳しい。														
商店街（代表者）	・家庭の中で必要経費となるガソリン代や税金、厚生年金等の値上げがあり、財布のひもは堅くなっていく。消費者の購買意欲がどんどん下がっている。														
コンビニ（エリア担当）	・酒、タバコ等免許品の売上が下がっており、今回の酒類販売の完全自由化によってさらに売上が下がることは間違いなく、厳しい状況が続く。														
コンビニ（販売促進担当）	・鹿児島市内で薬局や家電、家具、食品の大型量販店が相次いでオープンする。客の分散化があり、今後は厳しくなる。														
乗用車販売店（従業員）	・トラックの受注台数が減っている。														
住関連専門店（経営者）	・低価格商品の購入にも客が慎重で1回の来店では決まらなくなっている。現在開催しているイベントが終わると客足も鈍くなり、先行きは厳しくなる。														
高級レストラン（専務）	・今後、鹿児島市内は新しい大きな商業地がたくさんでき、人口に対してのお店が増え、競争が激化する。														

		タクシー会社（営業担当）	・タクシー業は景気は全く良くなる気配は感じられず、人の動きも悪い。
	悪くなる	スーパー（企画担当）	・夕方を中心とした販売強化による伸長があるものの、24時間営業の地場中堅スーパーマーケットや大手総合スーパーの出店による影響が懸念され、かなり厳しい状況になる。
		競輪場（職員）	・発売額、入場者とも前年と比べ落ち込みが大きく、今後の回復傾向が全く読めない。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・年末年始の生産時期に入り、例年以上に原材料は期待できる。ただしスーパー関連の動きは良くない。
		家具製造業（従業員）	・年内の受注見込みは、前年比で120%近くある。今後2～3か月で今の景気が失速する要因は無い。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・時期的にも最盛期を迎え、受注関係も明るさが見えるが、個別に見るとやはりまだ厳しい。
		鉄鋼業（経営者）	・自動車部品関連やIT関連の新工場、並びに大型マンション、物流センターなどの増築など民間建築を中心に新規設備投資が秋口から着工される見込みである。今後とも需要は堅調に推移し、鉄鋼製品需要は更に高まるものと予測され、タイトな需給状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・車体に搭載する半導体の発注量が増えている。熊本県には「熊本セミコンダクタ・フォレスト構想」も策定されており、パイオや半導体、ものづくりが一体となった経済の推進が奏功する。
		建設業（総務担当）	・ファッションセンターが建築後数年経ったため、店舗のリニューアルや増築の時期に入っており、今後その工事の受注が増える。
		輸送業（従業員）	・年末は時期的要因で貨物が動くため、景気自体が上向きとはいえないが、メーカー等は厳しい状況乗り越えようと、新商品の投入に向けて販売戦略等を考えており、少しではあるが期待を持てる。
		輸送業（従業員）	・原油価格の高騰が落ち着いてきており、自社及び荷主の収益悪化に歯止めが掛かってきた。
		通信業	・建設業は、年度末にかけて忙しさが増す。今年度は例年以上に忙しくなる見通しである。
		金融業（営業職渉外係）	・ボーナス商戦を控え、個人消費に少しずつ明るい兆しがでており、良い傾向である。
		不動産業（従業員）	・市内の地価が上昇傾向にあり、今後も良い状況は続く。
		食料品製造業（経営者）	・売上自体は増加するが、納入先の需要予測は芳しくなく、景気が向上しない。
		食料品製造業（経営者）	・コンスタントな受注は見込めるが、良くなるとは言えない。
		繊維工業（営業担当）	・消費動向が安定しているので、受注も安定してくるが、工場や小企業の動きはあまり変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後も輸送機関連企業からの引き合い状況が続く。
		一般機械器具製造業（経営者）	・それぞれの業種で金型関係の動きがみられるようになったが、引き合いは依然低調に推移しており、不透明感が払拭できない。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・海外生産中止の為、6か月以上最低受注で推移しており、今後も続く。
		建設業（従業員）	・見積案件は沢山あるが なかなか受注に結びつかない。また、設備投資にお金を掛けるような企業はあまり見受けられない。
		通信業（職員）	・部門の上期受注目標と比較して実績は達成しない見込みである。利益面でも赤字のものがあり、上向きの傾向はない。
	金融業	・現在の景気は良いと感じるが、将来の不透明感を訴える取引先が多い。また、一部の業種や零細企業などは、逆に足元の景気悪化を訴えるなど二極化現象も見られる。	
	金融業（得意先担当）	・当地区は建設業関連並びに医療関係が主であるが公共工事削減と受注の減少、並びに原油価格の高騰に伴う経費の負担、金利の上昇等を考えると、なかなか改善する見通しが立っていない。	
	広告代理店（従業員）	・折込枚数は前年をやや上回った。業種的にはパチンコのチラシが全体の20%強を占めるようになり、スーパーのチラシの15%を超えた。伸び率でもパチンコは前年比10%以上の増加を示している。当分はこのまま推移するが、パチンコ業界も過当競争で今後どうなるか分からない部分もあり、危惧するところである。	

	経営コンサルタント	・今の状況が固定し、受注価格が上昇するということは考えられない。	
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（取締役）	・公共事業の削減等が叫ばれている中、年金問題、消費税の問題等を考えると、大企業と中小企業の格差が出てくる。大企業は上向きかもしれないが、中小企業や零細企業、地場産業は厳しくなる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・大手、中堅企業は全体的に動きが活発であり、各社とも納期に関する問い合わせがたくさんあった。しかし10月以降の受注状況が非常に不安定になっており、先行きの見通しが立ちにくくなってきた。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・人材の確保が難しい。	
	金融業（調査担当）	・投資の主体が機関投資家から個人に移っており、消費に対する影響が懸念される。	
	悪くなる	-	-
雇用関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・3か月前から総務や人事、経理等の管理部門に対する求人が急激に伸びており、エンジニア同様に適材人材不足が目立つ状況である。管理部門を強化する事で、より企業体質の強化を図っている様子である。
		民間職業紹介機関（支店長）	・年末、年度末需要が活発化しており、求人数も前年比2けた増である。デジタル家電新商品や携帯電話の番号ポータビリティ、お歳暮商戦などに関連して、前年よりも早くオーダーがきている。
やや良くなる	職業安定所（職員）	・正社員の求人数が若干であるが増加しており、求人数全体も増加傾向にある。	
変わらない	人材派遣会社（社員）	・大型商業施設または遊興施設のオープンに際し、直接雇用に応募がなく、派遣オーダーが増加しつつある。各社派遣オーダーは受けているが、スタッフが足りない状況である。	
	人材派遣会社（社員）	・単価的な思惑で福岡に進出する企業が多く、案件は増えているが、底上げにはなっていない。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	・長崎県はマンションの建設ラッシュとなっており、既存の販売中の分譲地などもこの時期一気に販売してしまおうという気配が感じられる。不動産情報誌においても、大手建設会社やハウジングメーカー、マンション業者、一般建売業者等の積極的な広告がみられる。金利の上昇等が一層拍車を掛けている。	
	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	・自動車産業など製造業の求人増や設備投資などの話を耳にするが、まだ具体的なものはない。	
	職業安定所（職員）	・原油価格高騰の不安や新たな企業進出もなく、欠員補充はあっても雇用増の期待は持てない。	
	職業安定所（職員）	・業種によって求人状況について差があり、一部の業種では景気が回復するが、全体としては今の状態が続く。	
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・フリーターを中心に人手不足が顕著になってきた。これから、賃金の高騰や採用難による人手不足でサービス低下をきたす零細企業は窮地に追い込まれる。	
悪くなる	-	-	